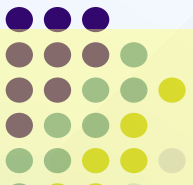


初期研修医の先生で...

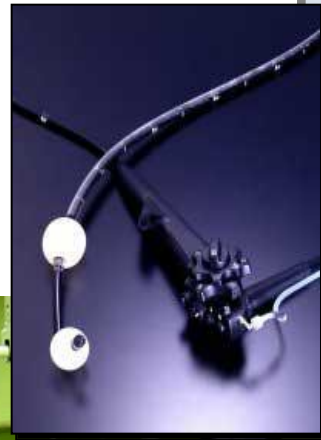


- 内科外科問わず，消化管疾患に興味がある。
- 内視鏡に実際に触れてみたい！
造影や超音波など，画像検査の手技・読影を習得したい。
- CV挿入など手技を沢山経験したい！
- 内科ならではのステロイドや免疫抑制剤治療などの高次の治療，感染症や栄養管理などの全身管理を学びたい。
- 大学病院としての専門性の高い医療に触れてみたい。
- 小児科に興味がある。若い患者さんへの接し方を学びたい。
- 余裕があれば，研究や学会活動にも関わってみたい。

炎症性腸疾患（IBD）センター

Welcome!

- ・ **内科・外科が同一部門**でシームレスで診療にあたる，国内で数少ないIBD専門診療施設
(対象疾患：潰瘍性大腸炎・クローン病・感染性腸炎など)
- ・ **国内有数の症例数**に基づく**豊富な治療・検査件数**
- ・ **小児から高齢者**まで，幅広い年齢層が対象
- ・ 免疫抑制療法，感染症，栄養管理など，疾患に偏らない**基本的な全身管理と手技**の習得が可能
- ・ 積極的な学会参加，院内勉強会による**知識の習得**



初期研修の行動経験目標

- ・腹痛・腸炎の診断と治療
- ・入院患者の全身管理, 薬物治療
- ・外来患者の問診聴取
- ・中心静脈穿刺の手技習得
- ・指導医のもと各種消化管検査の実践 (内視鏡モデルを用いた実技指導など)
- ・希望者には積極的な学会参加・研究発表の指導



初期研修の行動経験目標

IBDセンターでは、病気の急性期から慢性期、内科から外科治療まで、全ての検査・治療の基本手技を一度に習得できます。

人数が少ない分、指導医と研修医の距離が近く、内視鏡をはじめ数多くの検査や処置を毎日積極的に体験させて頂きました。

皆さんも是非、IBDセンターでの研修をお勧めします！

(平成21年度1年目研修医)

